

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所等)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ライフサポート樂樂
所 在 地	千葉県旭市口1004-17
評価実施期間	2025年11月5日 ~ 2025年11月6日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	社会福祉法人 愛育会 サンライズベビーホーム シャカイフクシハウジン アイイクカイ サンライズベビーホーム		
所 在 地	〒289-2516 千葉県旭市口の245番地3		
交通手段	自家用車が便利 JR旭駅より徒歩8分		
電 話	0479-64-1515	FAX	0479-64-1516
ホームページ	サンライズベビーホーム旭		
経営法人	愛育会		
開設年月日	平成1年4月1日		
併設しているサービス	保育園のみ		

(2) サービス内容

対象地域	旭市、銚子市、神栖市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	15	30	25	20			90		
敷地面積	1,591.91㎡			保育面積		815.09㎡			
保育内容	◎0歳児保育		障害児保育		◎延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	○								
食事	○								
利用時間	午前7時～午後7時								
休 日									
地域との交流	年に10回くらいのコンサートに招待する。								
保護者会活動	運動会、お遊戯会、音楽会に参加して頂いている。								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	26	1	26	内育休1
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	22	1	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		1	1	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	各市町村子育て支援課に入所申し込み	
申請窓口開設時間	9:00~17:00	
申請時注意事項		
サービス決定までの時間	子育て支援課に申し込んで2週間	
入所相談	随時	
利用代金	収入に応じて各市が決定	
食事代金	保育料に含まれる。3歳児は1カ月5,000円	
苦情対応	窓口設置	○
	第三者委員の設置	○

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>*サンライズベビーホームは、子どもが生涯にわたる人間形成の最も大切な時期を長時間過ごす保育園であるので、子どもが生きてゆく力や、ひとりひとりの望ましい未来を自ら作り出す力の基礎を培うことを目標に日々の保育をします。 *愛されることにより子ども自身が存在を肯定されていると感じ、人を愛することの喜びを感じる事が出来るよう関わります。 *保育士の専門性を生かし保護者への支援および地域の子育て家庭への支援をします。</p>
<p>特 徴</p>	<p>未満児専門の保育園として、 *子どもの健康と心身の発育については細心の注意を払います。 *味覚が発達する大切な時期であるので、食物の美味しさを味わえる献立づくりと、楽しく食事ができる環境を作ります。 *幼児期から優れた演奏家によるピアノ、弦楽、声楽の生演奏を身近に聴くことにより豊かな感性を養います。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>*乳幼児より優れた音楽家の演奏に近距離で触れることにより、豊かな感性を養う。 生涯にわたり、色々な音楽に好きになるということは宝物が身につくことであると信じて、月に2回程度のコンサートを開催している。 本園ホームページで、育児休暇中のおかあさんとあかちゃんにお知らせしている。 *給食は未満児の月齢による成長の差を考慮して、同じ年齢のクラスであっても提供料理の分量（おかわり）、大きさ等を配慮している。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
<p>開園以来約40年の経験と作り上げられた職域文化と風土で公立保育園とは違うオリジナリティーのある運営をしている。保育サービスに音楽、英語教育を取り入れ人間形成に資する取り組みを持続的に実践している点は特徴ある保育サービスを提供している保育園である。</p>
<p>園内は音と笑顔と明るさに満ち溢れた未満児育成環境が構築されている。施設の特徴としては、情操教育の一環として音楽を通して乳幼児の感受性、感性、自己表現、情緒等脳や心をはぐくむ保育環境が整備されている。この特色ある保育教育方針の基、役職員が一体として取り組んでいる。</p>
<p>職員24名で7名のヒアリングおよび職員アンケートで法人組織としての人間関係は良好であり、上下左右のコミュニケーションもよく、風通しがよい就労環境、風土文化が形成されている。</p>
<p>保護者の満足度高める取り組み、保護者と担当保育士とのコミュニケーションの向上に努めている。保護者アンケートでも、施設の保育士に対する好感度の評価は高く、保護者満足度の高いところは評価できる。</p>
<p>乳児の成長にとって食育は最も重要な要素であり、施設としても力を入れて取り組んでいる。保護者アンケートでも食事についての評価は高い。引き続き乳児のすこやかな発育に寄する食事の提供に勤めていただきたい。施設としての取り組みと 생각이一部保護者へ伝播されてないことが残念である。保護者アンケートでもその点がうかがえる。保育参観・運動会以外に保護者との接点機会を増やす意味で離乳食や給食試食会等を開き、併せて保護者の意見を聞く機会の設定で施設と保護者間の一層の距離短縮ができるものと思うので検討されたい。</p>
<p>保護者等苦情やその対応の仕組みは、保護者及び職員に徹底されている。苦情受付担当者、責任者、第三者委員等が明定され、掲示され、かつ施設側の職員にも徹底されている。また、保護者の苦情が直接市役所等行政サイドにいくケースもあり、その場合の行政との連携も確率されている。</p>
さらに取り組みが望まれるところ
<p>職員人員構成は中間層が薄く、時間がかかるが30代40代職員層の充実、バランスある職員構成の組織作りを期待したい。また、現在そのような構成になっている要因について経営分析、育成のあり方、離職率の改善等を検討されることを望む。園長のリーダーシップで今日の施設がはぐくまれて来たが法人の持続的発展の為に事業継承されていくべき次世代経営人材の育成に対してトップとして取り組んでいただきたい。</p>
<p>未満児の安全体制、権利擁護が保育サービス基本業務であり、保護者にとっても最大の関心事である。BCPの作成、内容の職員への指導等常に児童の安全対策について早急に検討され、確立されることをのぞむ。現在も個別マニュアルはあるが、職員の身近なマニュアルとは言い難い。救急救命のスキルアップや災害時のリスクの洗い出し、防犯対策(監視カメラ等ブラインドがないよう)等発生に応じた行動規範等リスクマネジメントについて整理され、職員が学習され、一人一人の職員がいざというときに行動できるよう教育訓練にされることを期待したい。</p>

デジタル化、ICT化(情報通信技術)への取り組み。現場を抱える中で職員参加型の研修や勉強会には物理的制約がある。ラインや簡易アプリを使ったオンラインで視聴できる研修報告、動画配信でいつでも見れる研修報告やマニュアル等身近なところからデジタル化に取り組まれることを期待したい。事務室にあるペーパーマニュアルではなく、各自のグループラインでいつでも見れるマニュアルの視聴でき、会議や研修での言葉は空間に消えてしまうがライン等の配信は繰り返し確認できる。情報の共有化がサービスの質の向上につながるのを検討されることを推奨する。

地域福祉の推進の課題。前回評価時は子育て支援センターが設置されて、相談支援機能を有していたが、今回はなかった。長年取り組んできた音楽会の開催は地域との繋がりがあるがさらに公益法人としての公共性を鑑み、かつ40年の歴史がある施設として地域に根差した未滿時保育サービスを提供してきた実績やノウハウを生かせる地域貢献を検討されることを期待したい。

人材育成・研修制度について職員は菌車ではなく、一人一人が居場所があり、職場のエンジンとラインや簡易アプリを使った、研修報告、動画配信でいつでも見れる研修等

事業計画、年度末の事業報告および中長期の経営計画策定。作成経過に全職員参加により作成された計画であってほしい。施設に働く職員、施設を利用する児童と保護者の意向と限られた経営資源での優先順位を定め、年次の課題を共有化して取り組む方向性とベクトルの集約、組織としての定量評価しうる計画目標。施設の将来像、どのような施設にしていきたいかトップが夢を語りづける組織づくりを期待する。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

職員の年齢構成の問題は、35年以上、20年以上勤務している職員が、半数以上在籍しているので、職員が長年にわたって会得したスキルを10年以下の職員に積極的に伝えるよう、努力します。事業計画、経営計画、安全計画等を全職員に周知してもらう機会を設けるため、せつかくの毎月開催している職員会議の内容を更に充実させます。研修については全職員を4グループに分け、1年に4回自分たちが選んだ研究課題と研究結果を、発表する機会を作ります。地域福祉については、ホームページで年10回以上開催の音楽会の案内や、育児相談や乳児食の相談を随時受付していることのお知らせしていますが、更に利用しやすいように工夫いたします。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	3	1
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	2	1	
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	3	4
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	3	1
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	2	1
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	4	3
				7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	2	3
			職員の質の向上への体制整備	8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	2	2
				9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	2	3
				10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	3	1	
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0	
			13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	
		2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	1	2
				15 提供する教育及び保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	1	3
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
				17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
				20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	4	2
項目別実施サービスの質	対象外		21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	0	0	
			24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	1	3	
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0	
			26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0	
			27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	0	
子どもの健康支援	食育の推進	28 家庭との連携が十分図られている。	2	1		
		29 地域社会との連携が十分図られている。	1	2		
		30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0		
		31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0		
		32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	3	1		
		33 食育の推進に努めている。	4	1		

5	安全管理	環境と衛生	34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0
		事故対策	35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	3	1
		災害対策	36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	4	2
6	地域	地域子育て支援	37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	3	2
		計			114	40

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(評価コメント) HP、入園のしおり等で明記されている。職員の日常活動の中に息づいているかという今後の課題である。公益事業の存立意義である法人理念・教育理念・事業目的・教育目標、運営方針等は事業活動の一丁目一番地である。会議等で園長は口伝されているようであるが、言葉は空間に消え、記憶は薄れるものであるので文書等で常に確認できるように検討を要す。	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント) 入園に際してわかりやすい保護者へのリーフレットが用意され、説明されかつ重要事項等の書類により保護者への本園の理念・方針等が説明されている。保護者懇談会等保護者が集まる機会が少ないので入園後の説明機会が日常的に実践されているかの状況については確認できなかった。いずれにせよ、普段保護者との接点多い保育士への本項の実践について周知徹底が肝要と思慮する。	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。	
(評価コメント) 事業計画、中長期計画、年後の事業報告等について書面での確認はできなかったが、職員アンケートで作成され、公表されている。ただ、事業計画等作成に当たり職員参加によるボトムアップで作成された計画であるか否かについては職員ヒアリングでの反応にばらつきがあった。また、事業計画の見直しや年後の事業計画の結果や報告については確認できなかった。	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント) 園長のリーダーシップで法人理念や施設の抱えている課題や方針については、毎月の全体会議で職員に発信しかつ日常業務の中で口頭公言しているのは、職員ヒアリングで確認できた。更に望む事として、日常の中で明文化されたものがあれば実践の裏図けとしてほしい。理念は存立の原点であるので日常の中に息づく理念の実践が望まれる。	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
(評価コメント) 社会的弱者である未満児保育の現場で職員として守るべき法令、とりわけ利用者安全と権利擁護及び個人情報保護について職員は深く認識して組織の規矩準繩に添って実践されている。法令事項については法人存立の問題であるので定期的勉強会や研修会、あるいはグループライン等でさらなる意識づけを図られるように期待したい。	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。	
(評価コメント) 園長は職員の処遇や福利厚生等働きやすい職場作りを意識して、日常的に職員とのコミュニケーションを密にとり、職員との距離感のない存在である。意見や要望が言いやすい就労環境であり、要望や意見に対しても誠実に出来る事については実践している。総合コメントにも記載したが、業務効率化や情報共有化、記録管理等デジタル化、ICTの活用等が課題として指摘したい。書く文化でペーパーが山積され、書類検索、記録保管・管理等時間的問題と情報の共有化の観点から、出来るものについてはラインや記録管理のグループアプリで業務の効率化等について検討されることを推奨する。	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にいき、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
職員アンケート等で職員の就労満足度は相対的に高いが、職員ヒアリング及びアンケートで人事考課についての説明や結果のフィードバック等については仕組みの再考を要する。職員との定期的な個別面接において組織として職員への目標設定、達成された場合の昇進昇格の基準等について明示し、勤労意欲の向上を図る仕組みの創設が望まれる。特に職員構成で中間層が薄い現状から主任・チーフ・保育士の職階に中間管理職としてポスト等検討されたいかがなものであろうか。まじめに頑張れば、上位の職に付け、かつ処遇の改善のでき、はげみのある組織に期待したい。			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
未満児保育所としては、一般的な保育園と経営環境とりわけ入園時期に違いがあり、人員計画については工夫がいる運営と経営である。人材確保について計画についての具体的な書面等は確認できなかったが、管理職は事業持続要件として人員問題については認識している。採用や職員構成について計画的かつ具体的な手法や採用チャネルの多様化等が組織として取り組まれることが望まれる。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント)			
単年度の訓練・研修書類で確認。人材がベースの福祉サービス事業であり、項目としては大きな柱の一つであるので事業計画書に内部研修(勉強会)・外部派遣研修の予定と外部研修への派遣者の指名が示され、かつ個別の育成研修シートで職員の成長計画があり、合意の上取り組むような職員研修計画として確立されることを望む。新人保育士については配属先のチーフが指導対応している。メンター制度やスーパービジョン等育成体制やプログラムについて園として積極的に取り組んでいく方針と職員意識の醸成が肝要とおもう。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)			
未満児の人権擁護については職員意識は定着している。常に複数職員でのサービス対応で不適切な対応についての発生防止、相互に確認する環境でサービス提供がされている。全体で見守る仕組みの職員意識があり、保護者からの信頼感もある。(保護者アンケートより)			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
入園児の保護者への重要事項説明で説明、職員にも情報の守秘事項については会議等で徹底している。個人情報の漏洩は社会的問題になり、経営存続につながるので職員への更なる勉強会や研修会等徹底について管理指導されたい			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
園として保護者アンケートをしている。今般の第三者評価における職員アンケートでも利用者ニーズや要望に対して職員会議等での意見の共有化と可能な限りの対応している。また、今般の第三者評価での保護者アンケートでも満足度は高く、保護者との関係は円滑かつ組織的に取り組んでいる。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
園内玄関に苦情窓口・責任者・第三者委員の掲示がされている。また、行政サイドの窓口についても確認できるよう市役所公報で広く掲示されている。できれば、「入園のしおり」、ホームページでの表示や紹介等があっても良いのではないかな?			

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント) 保育園全体では職員間で、毎月の職員会議で課題を発見し意見の交換を行っているが、自己評価の定期的には実施は行われておらず、今後定期的な実施を期待する。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) マニュアル関係は作成されていない。先輩職員が教育する体制になっているが、中間層が少なく、新人職員はベテラン職員からの教育で、必要に応じてマニュアルが活用できるように、職員参画のもと作成されることを期待する。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 0歳児保育の場合は、入園時期がばらばらであり、常に保護者からの問い合わせ(見学等)については即応している。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 教育理念や保育方針、基本的ルール等は、入所説明時に詳しく説明し、同意を得るようにしている。教育および保育の無いようにする説明の際に、保護者の意向ははっきり聴き取り、共に保育をする体制を取っている。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 全体的な計画は、理念や教育及び保育方針・目標に基づき作成されている。園児たちが長時間過ごす場所で子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成され、園児一人ひとりに対応されている。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 園児一人ひとりに乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しても個別計画が作成され実践されている。また、職員会議等で職員間の共有も図られている。			

20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 乳幼児が多い園で、子ども主体に活動できる環境を考えている。玩具や遊具も子どもの状態に応じた用意されている。保育士の創意工夫のある遊び等も行われている。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		(評価コメント) 乳幼児(0歳児)の養護と教育、食事(離乳食)を含め一体的に展開され、送迎時や連絡帳を通じて保護者とも密接な連携を図り、保護者からの相談に応じ、アンケートでも相談しやすいと多く書かれている。	
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		(評価コメント) 1,2歳児は基本的な生活習慣を子どもが自分で考え、行動できるよう子どもの気持ちを尊重し、配慮している。また、人の気持ちが理解できる時期で、友達の気持ちやともだちとの関わり方を丁寧に伝えている。また保護者からの相談には応じるなど保護者への支援に努めている。	
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		(評価コメント) 対象外ですが、保護者アンケートでは3歳児以上は他園に転園しなければならないので、3歳時以上の保育も実施して欲しいとの声が多くありました。	
24	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<input type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
		(評価コメント) コロナ、社会情勢等で保育界全体の傾向として園外活動の自粛が実態である。未満足であることもあり、かつ保護者からも安全対策についての要望も強く、現状は園内や園庭での保育サービスである。	

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>より良い人間関係を創り出す出発点の保育園で、子どもの遊びと人間関係の大切さを重視し、トラブル発生時は見守りながら声掛けし、危険が無いように解決するよう援助している。乳児が20名近くおり、異年齢の交流も行われ遊びや生活を通じて人間関係が育つよう配慮されている。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>0歳児～3歳児未満の保育所で、乳幼児の発達障害については、早期に気付くことが多く、保護者、臨床心理士、保健師等と連携し、適切な療育に取り組み、記録している。虐待等の疑いがある場合等も児童相談所ともに相談や助言を受け適切に対応している。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>時間外保育に関しては、特に力を入れており、子ども楽しくが安心して過ごせる環境を整え、担当職員研修や引き継ぎが適切に行われ必要に応じて保護者に説明している。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者との連絡帳、ラインによる連絡網の確立(さくら連絡網)相方向のコミュニケーションチャネルで保護者家族と施設の人間関係の強化を図っている。外国籍利用者は少ないが公平・平等・公正なサービスを旨とするインクルージョンの思想を希求している。特に保護者アンケートでの要望のある施設との関りの要望、懇談会・保護者会・試食会等機会の提供について検討されことを望む。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>かつて委託事業として子育て支援センターの機能がかった時は、地域の相談窓口として一定の役割を担っていたが、現在は永年続けている音楽演奏会で地域への発信をしている。定例化されている演奏会等更に広く地域へ発信をし、音楽を通して地域福祉の輪づくりを進化させていけば地域モデル事業にもなると思う。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>児童の心の安全基地である家庭と保育所である。とりわけ施設としては預かる側の目線で児童の身体的・肉体的変化に対しての常に注意深く観察、問題がある場合にチーフを交えてカンファレンスし、虐待の疑いがある場合には、児相・市役所等へ報告する園内ルールが確立されて職員の中でも認識されている。</p>		

31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
<p>(評価コメント)</p> <p>栄養士、看護師、職員連携を取り、乳幼児の保護者からの情報と共に、登園時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録し共有を図っている。</p>		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>安全計画として年次計画には明定されており、個別として各種マニュアル(災害・救急・不審者対策等)で確認できた。マニュアルも改正されており、整備されているが、職員ヒアリングでBCPについての認識が乏しい点が今後の課題である。とりわけ身体的に弱い未満児保育の現場では、安全対策・人権擁護の二本のサービスの原点について各種ばらばらのマニュアルの整理統合、職員への研修、実践訓練等に取り組んで行くことを期待したい。BCP=リスク→災害・感染症・防犯・人的等すべてのリスクを洗い出し、その対策について作っておくようにされたい。</p>		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
<p>(評価コメント)</p> <p>児童達がおやつ・食事を楽しむことが出来る環境であり、その工夫がされている。毎月食育だよりを発行し(メニューの他カロリー目標値の設定)保護者へ発行、さらに写真で掲示し、児童の食育についてその取り組みは保護者の満足度は高い。現在アレルギー児がいないがこれまでの蓄積したノウハウでアレルギー児の受け入れ対応についても問題ない。栄養士は常に児童の残存食のチェックにより、工夫した食事の提供を心掛けている。保護者アンケートから離乳食試食会やレシピの勉強会等の希望が高く、対応を検討されたい。</p>		
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>衛生管理については、施設側は細心の衛生管理で臨んでいる。改善点としては、①調理室が狭い点②できれば専門の衛生管理者の検査が望まれる。</p>		
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>安全計画に明記されている。重大事故マニュアルとして午睡・食事・プール・園外活動・送迎等シチュエーションに応じたリスクに対してどのように対応するか行動規範が明記されている。また、マニュアルの改訂もその都度リニューアルされている。保護者へは園内掲示や文書での連絡をしている。一部通路が狭いところがあり、ブラインドスペースもあるので監視カメラや非常ベル等でさらなる防犯・安全対策が望まれる。</p>		
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input type="checkbox"/> 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 <input type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>32項の感染症と同じく、BCPとしてまとめ上げることである。災害マニュアル・防火マニュアルは個別にあるが、職員の身近にはない。生きたマニュアルにするためには、日ごろからの研修と自覚と気づきであるので「いざというとき」に職員の行動規範ができるように施設として職員研修等で周知徹底されたい。また、近隣住民との緊急時の関係性について連絡協議会等を立ち上げて地域福祉の一翼を担っていく事を期待する。</p>		

37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input type="checkbox"/>	子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
29の項目で評価したように当該施設の最も特徴的な保育スタイルの核として音楽による情操教育である。この地で保育を通して演奏会等音楽で地域への発信活動を永年継続してされているのは高い評価に値する。さらに期待したい事項としては社会福祉法人としての保育事業を通しての地域への子育て支援について職員を交えて施設として何が出来るか広く意見聴収して出来る事を計画されたい。			